

三小だより



令和2年9月30日 10月号

調布市立第三小学校
校長 辻 久恵

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu-3sho>

メールアドレス: chofu-3sho@chofu-schools.jp

社会が求めるスキルを身に付けるために…

副校長 黒木 美穂

教員用タブレットが導入されて1年が経ちました。子どもたちの興味・関心を高めるために、子どもたちが問題意識をもてるようにするために等、本校の教職員も積極的に活用しているところです。新型コロナウイルス感染症が広がったことにより、国や都が動き、調布市は「今年度中に児童生徒に一人一台タブレットの準備」を進めています。莫大な予算が子どもたちの教育に充ててもらえることは、本当にありがたいことだと思います。本校には実際、夏休みに児童用タブレットが70台導入されました。通信環境も整えていただき、各教室で使えるようになりました。休校中に紹介した「ミライシード」も少しずつ試せるようになってきた、というところです。

時代はどんどん進んでいます。地域差はありますが、やっとならぶ端末の導入が現実味を帯びてきた、という段階です。今後の日本では、今ある職業のうち約40%はなくなると言われています。残るのは「high skill」と「low skill」の職業で、間にある「middle skill」の職業は、AIやロボットに代わっていくとも言われています。そういう社会を生き抜くために必要なのは「コミュニケーション」(表現力)、「クリエイティビティ」(創造力)、「スペシャリティ」(専門性)の3つの力と言われています。これらの3つの力を身に付けるために、学校では様々な取り組みをしています。その中でも一番見えるのは「コミュニケーション」の取り組みだと思います。これからの時代を生きていく子どもたちに必要なのは、「自分自身を語るができる力」です。授業では、もちろん「国語」を中心に各教科で取り組んでいます。それだけではありません。本校でも朝の会や帰りの会で「スピーチ」をするクラスがあります。言語活動はトレーニングですから、「スピーチ」のように続けることが力になります。(目安は低学年1分、中学年2分、高学年3分と言われています。)経験していれば、あとは積み重ねていくことで、だんだんできるようになってきます。

また、大人にも言えますが「テレワークに必要なスキル」もこれからは必要です。コロナの影響もあり、入社試験の多くは「オンライン面接」や「自己PR動画」が取り入れられているそうです。ということは、そもそも動画を作成できなかったら、その会社に応募すらできない、つまり、子どもたちの可能性、進路を狭めてしまう可能性すらある、ということです。今は、便利なアプリがたくさんあるので、学校で使うきっかけ、使い方を提示し、家庭で取り組むということになっていくと思います。また、「プログラミング教育」という言葉を聞いたことがあると思いますが、これは「考え方を考える教育」ということです。これは普段の授業の中でも、子どもたちに問題意識をもたせ、調べる必然性を生み出すような授業展開をすることで、子どもたちに身に付く力でもあります。また、ソフトを使って遊び感覚で身に付けていくことも、これから進めていく予定です。

夏の暑さが嘘のように、あっという間に季節も秋めいてきました。秋晴れ、と言われる日は、朝晩の気温がぐっと下がるそうです。あの暑さに耐え抜いた体も、この気温の変化にびっくりしているような気がします。過ごしやすい季節に入りますが、まだまだ感染症予防対策は続けていきます。また、交通安全週間中は地域の方々に児童の登校を見守っていただきました。ありがとうございました。引き続き安全で安心な学校づくりに全力を尽くしていきます。今後どうぞご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

10月の目標

【生活目標】

進んで体をきたえよう

三小ギネス大会や休み時間等、コロナ感染対策に取り組みながら運動に親しみ、進んで体力向上を図るよい機会としていきます。ご家庭でも、励ましとご指導をよろしくお願いいたします。

【あいさつ目標】

「おはよう」のあいさつを自分からしよう

学校生活の様子（1・2年生）

1年生 生活科の学習の様子



「あつ！バツタをかまえたよ！」
「すごい、教室で飼いたいね。」

1年生は2回にわたり、でこぼこ山公園に、自然探検に出かけてきました。1回目は、夏の植物や昆虫が見られましたが、2回目はもう秋の様子で、季節の変化も感じることができました。子どもたちは、赤トンボやバツタを捕まえたり、きれいな花を集めたりして、身近な自然を発見していました。

2学期に入り、1年生の各クラスではザリガニを3匹ずつ飼いました。元気いっぱいにはさみをふりまわし威嚇してくるザリガニを全員がつかめるよう特訓中です。

交代で餌をやったり、水槽の水をとりかえたり、一生懸命世話をする子どもたちの姿に、成長を感じます。

「ザリガニは尾の方から持つと、挟まれないよ！」
「この子の名前は、水で暮らしているから、みずきちゃん！」



2年生 水書で字を書く練習をしよう！

全学級で水書を活用した書写指導を行いました。正しい鉛筆の持ち方を再確認し、運筆の際の力加減を意識するために鉛筆ふでという道具を使って字を書きます。普通の鉛筆に比べてとめ、はね、はらいを顕著に表せることに加えて、水が乾けば何度も書き直すこともできるため、たくさん練習しました。鉛筆に持ち直して字を書いてみると、「いつもよりしっかりはらえた！」と、喜びの声をあげる子もいました。



給食室より

栄養士 湯本 歩

今年度の三小の給食は、児童・職員合わせて約620食を6人の調理員さんで作っています。

調布市の学校給食では手作りを基本に、ぎょうざや春巻き、コロッケ、ゼリーなど色々なものを作っています。だしやスープは当日に使用する分だけを天然の素材(削り節、昆布、干しいたけ、鶏がら、豚骨)からとり、化学調味料は使っていません。カレーやシチューのルーも手作りで。給食室は毎日大忙しですが、子どもたちの笑顔のために力を合わせて頑張っています。また、世界の料理や郷土料理、ブックメニューを献立に、地場野菜や調布市の姉妹都市の長野県木島平村の食材などを多く取り入れています。給食で様々な経験を積んでほしいと思っております。

給食の運営は、各家庭から毎月いただいている給食費がすべて食材費となります。今年度も自然災害の影響により、野菜、果物などの生鮮食品の価格高騰や小麦粉、牛乳・乳製品、油脂類など多くの食品の価格が上昇しています。厳しい財政状況ではありますが、献立内容や調理方法の工夫などでより良い給食を提供できるように努めてまいります。

保護者の皆様には、これからも学校給食の運営にご理解とご協力をお願いいたします。

図書室から



図書主任 石原 香織

「もみじ読書旬間」がはじまります。(9/28~10/16)

第三小学校では、9月28日(月)からもみじ読書旬間が始まります。校内では、教員による読み聞かせ、図書委員による本の紹介などの企画が行われ、読書の記録や読書郵便に取り組みます。

今年度は、2か月にわたる休校により、1学期のあじさい読書旬間は実施できませんでした。その分、図書委員会の子供たちは、はりきっています。図書担当の私も、本を通して行われる様々な企画に学校全体が包まれていく3週間が、素敵で3週間でありたいように、とわくわくしています。

昨年度の学校だよりに、子どもを本好きにする方法として、「子どもが実際に本を手に取り、ページをめくる機会をもつ」ことだと書かせていただきましたが、最近新聞で、「親が楽しそうに本を読む姿を見せる」という記事を見付けました。なるほど、と思ったのですが、保護者の皆様は最近本を読まれましたか？

本は読みたいけれども、忙しい。そして、他にもたくさんのお楽しみにあふれている時代です。だからこそ、三小の読書旬間に合わせて、この期間に保護者の皆様も読書を楽しまれることをご提案します。私も(1年生の担任です) 子どもが読書する時間に自分の好きな本を読もうと思います。子どもたちが「先生、何読んでるの？」と聞いてくるのが楽しみです。

令和2年度

学校評議員・学校関係者評価委員の皆様です。

学校評議員・学校関係者評価委員の皆様には、年間を通して本校の教育活動についてご意見等をいただいています。保護者・地域の皆様のご意見とともに、学校の教育活動の発展に資していきます。【学校評議員】(敬称略)

- 荒井 嘉江 (健全育成第三地区委員会会長)
- 高橋 一明 (第三小学校地区まちづくり協議会会長)
- 長堀 義樹 (子ども会会長)
- 秋輪 和幸 (主任児童委員)
- 小倉 要 (二葉学園園長)
- 塚松 美穂 (地域学校支援協働本部)
- 長谷 瑞信 (本校 PTA 会長)
- 増岡 広視 (本校元 PTA 会長)
- 瀬尾 竹蔵 (本校前 PTA 会長)
- 有賀 芳子 (本校元校長)

【学校関係者評価委員】(敬称略)

- 荒井 嘉江 (健全育成第三地区委員会会長)
- 長堀 義樹 (子ども会会長)
- 長谷 瑞信 (本校 PTA 会長)
- 沼本 邦宏 (第五中学校副校長)

いじめ相談窓口の設置

本校でもこれまで、いじめ防止対策の取組を行ってききましたが、調布市教育委員会の方針を受け、児童・保護者及び地域の方々からの情報を集約し、いじめの未然防止や早期発見、そして、万一いじめが発生した際の対応を一層確実にできるようにするためにいじめ相談窓口を設置しています。いじめに関する相談がある場合には、担任をはじめ以下の教職員が窓口となりますのでご相談ください。

【相談窓口となる教職員】

- 黒木 美穂 (副校長)
- 石川三枝子 (生活指導主幹・特別支援教育コーディネーター)
- 奥井寿美子 (総務主幹・特別支援教育コーディネーター)
- 明比 千鶴 (特別支援教育コーディネーター主任)
- 石川 正美 (特別支援教育コーディネーター)
- 村田 直子 (特別支援教育コーディネーター)
- 中原 秀文 (特別支援教育コーディネーター)
- 石山 哲 (特別支援教育コーディネーター)
- 藤田 晃子 (主任養護教諭・特別支援教育コーディネーター)
- 細野 成美 (都スクールカウンセラー)
- 花嶋 舞桜 (市スクールカウンセラー)

電話：485-1251 485-1257 (SC室)

10月の行事予定

【お知らせ】

日	曜日	行事予定
1	木	図書集会
2	金	教育実習終了
3	土	
4	日	
5	月	放送朝会 委員会活動
6	火	安全指導 就学時健診 ※全学年給食後12:45完全下校
7	水	ゲーム集会 ※校内研究授業のため3-1以外4時間授業
8	木	教員読み聞かせ
9	金	避難訓練
10	土	土曜授業日 SNS教室(4・5・6年)
11	日	
12	月	放送朝会 クラブ活動
13	火	
14	水	仲良しタイム 眼科健診
15	木	教員読み聞かせ 多摩川探検(3年) 普通救命講習(6年)
16	金	読書旬間終 普通救命講習(6年)
17	土	
18	日	
19	月	放送朝会 三小ギネス大会始
20	火	
21	水	仲良しタイム パラリンピアンから学ぼう(講演全学年、実技4年)
22	木	
23	金	
24	土	土曜授業日
25	日	
26	月	放送朝会
27	火	
28	水	※校内研究授業のため5-2以外4時間授業
29	木	自転車安全教室(3年)
30	金	三小ギネス大会終
31	土	

「パラリンピアンから学ぼう」について

2012年ロンドンパラリンピック「ゴールボール」金メダリスト・安達阿記子様にお越しいただき授業をしていただきます。1時間目は全学年を対象とした講演(オンラインで各クラスで視聴します)、2～4時間目は4年生が競技の体験をします。

三小ギネス大会について

各自が自分の記録の向上を目指して挑戦する「三小ギネス大会」を開催することとなりました。6年生の実行委員を中心として、下記のように取り組みます。

日時：10月19日(月)～30日(金)

中休み

種目：縄跳び前跳びチャレンジ・フラフープ時間チャレンジ・ボトルフリップチャレンジ・輪投げ・バランス棒チャレンジ・反復横跳び・歩数計チャレンジ・片足立ちチャレンジ・鉛筆立たせチャレンジ・積み木チャレンジ

自分が取り組みたい種目を選び、挑戦していきます。

10月のレインボールーム

★火曜日担当★ 花嶋 舞桜

6日 20日 27日

★金曜日担当★ 細野 成美

2日 9日 16日 23日 30日

開室時間 9:00～16:30

直通電話 485-1257

☆保護者の方々からのご相談や電話での予約も受け付けております。留守番電話の内容は勤務日に確認いたします。ぜひご利用ください。

給食費について

10月分の給食費の引き落とし日は10月5日(月)です。入金締切日は、**10月2日(金)**になっていますので、お忘れなくご入金をお願いします。予備日は20日(火)入金締切日19日(月)です。

第22回第三小学校地区 合同防災訓練の中止について

第三小学校地区では、平成11年より第三小学校地区まちづくり協議会を中心として毎年開催されておりました。今年も年度当初には10月10日(土)に予定されておりましたが、中止となりました。

訓練はできませんが、災害に備えて、避難経路や家族の集合場所の確認、非常用持ち出しバックの点検など、各ご家庭での取り組みをお願いいたします。

11月当初の予定

2日(月) 挨拶週間始まり 委員会活動

3日(火・祝) 文化の日

6日(金) 挨拶週間終わり 6年 日帰り移動教室